

七 転 八 起

最終的に勝負を決めるのは気持ち
(田中将大)

第 8 号
2019 年 11 月 3 日発行

すっかり秋めいた気候となり、校舎裏の信夫山も少しずつ秋色へと衣替えをはじめ、四季の移り変わりが感じられる季節です。

さて、高校生活をマラソンに例えると、高校入学という同じスタートラインに立って、走りはじめたはずが、先頭集団と後続の集団に大きな差となってあらわれてくるのがこの時期です。今、必死に先頭集団に食らいついていくことで、この先の高校生活が自身の成長へと大きく変化します。しかし、その逆もあり、初めは先頭集団を走っていたはずが、どんどん抜かれていき、後続集団のど真ん中を走ることになってしまっている生徒もいます。さらに、自分を見失い、コースを外れて、別の道に迷い込んでしまう生徒が出てくるのもこの時期です。

初めは誰でも一生懸命です。本当に大切なのはここからの走りなのです。「未来のじぶん」のためにも今、手を抜かないこと。そんな高校生活の別れ道が、今ではないかと思います。今月の過ごし方は1年のうちでとても大切だと考えてください。たとえ、先頭集団に入っていなかったとしても、今は自分のペースを守りながら、常に先頭集団を意識して走ることが大切です。

芸術鑑賞会

本校では豊かな感性を育てることと、質の高い芸術や文化に触れられるよう年に一度、芸術鑑賞会を実施しています。

音楽、古典芸能、演劇等の演目を順に選定しており、本年度は演劇の年にあたっています。そこで、今年の芸術鑑賞会は11月7日(木)「劇団銅鑼(どら)」演じる「チャージ」という作品を鑑賞します。

劇団銅鑼は、1972年に発足し、劇団員約50名で、「平和」と「人間愛」を「本当に人間らしく生きることとは何か」をテーマに活動されています。日本全国はもとより海外にも活動の場を広げ、子どもから大人まで幅広い年齢層に感動の舞台を届けている劇団です。1978年より「演劇を通して青少年に豊かな文化を」と全国で学校公演を行っており、毎年、小・中・高校での公演を数多く行っています。

普段、なかなか触れることのない、舞台ですが、まさに本物の作品を本物の劇団が演じます。公演終了後には、きっと皆さんの心の中に“命の炎”が芽生えることでしょう。

選択科目決定の時期

来年度から始まる、2年次の選択科目を決める時期が近づいてきました。総合的な学習の時間の中で学年の先生方からガイダンスがあり、さらに2年生が修学旅行中には教科担当者による選択科目理解ガイダンスも予定しております。

1年生は次年度の前期の選択科目だけを決めればいいというわけではなく、3年次までを見越した選択が必要です。そのためには、卒業後の進路を明確にすることが大切ですが、もちろんそんなに簡単に決められないという人もいるかもしれません。しかし、いつかは決めなければならないことで、できるだけ早めの目標設定が重要になってきます。これをキッカケとして進路についてじっくり考え、保護者と相談しながら、選択科目の決定も合わせてお願いします。

芋煮会開催！！

11月22日(金)の「学年の日」に水林自然林において芋煮会が行われます。

1学年が20班ほどに分かれて行う芋煮会ですが、5月の遠足の時のバーベキューとは違って、献立の作成も食材の調達も、終わった後のごみ処理の方法まで、すべて自分たちで、考え、実行しなければなりません。

思い出深い秋の1日になるよう、しっかりと事前準備を整え、当日を迎えましょう。我々、教員も当日にどんなものが試食できるのか、楽しみにしています。

今後の予定

日付	予定
11月 7日(木)	芸術鑑賞会(とうほう・みんなの文化センター)
13日(水) 14日(木)	海外修学旅行サーチャージ料納入(3回目)
22日(金)	学年の日「水林自然林にて芋煮会」
12月 9日(月) ～12日(木)	後期中間考査

保護者の方へ

10月後半に通知表を各家庭へ郵送させていただきました。各教科の総合点数や定期考査の点数などが確認できるようになっています。高校入学後最初の成績通知です。この機会をお子様と話すきっかけとしていただき、ご家庭でも叱咤激励願います。

また、12月には三者面談も予定しております。次年度の選択科目についての話し合いを中心に行いますが、時間に限りがございますので、必ず、ご家庭でお子様と話し合ったうえで、面談に臨んでくださいますようお願い申し上げます。

TKP コラム Vol. 10

「すべての人に役割がある」

学年主任 末松孝治

アメリカの小学校で理科の授業中に、実験で使っていたマウスが逃げ出し、どこに隠れたのかわからなくなりました。先生（女性）は児童に教室中を探させましたが見つかりませんでした。

そこで、先生は児童たち全員を着席させ、こう言いました。

「これだけ捜して見つからないのなら、あとはモリス君にお願いしましょう」

途端に教室はざわめき、「ちょっと待って、何でアイツが」という声があちらこちらから起こりました。そして、生徒の一人が手を挙げて「モリスには無理です」と言いました。

実はモリスは目が不自由だったのです。モリスが生まれた時、1ヶ月以上もの早産だったため、特別な保育器に入れられました。彼はその中で、大量の酸素を吸ってしまったために、視力を失ってしまったのです。

しかし、先生はこう答えました。「なるほど、確かにモリス君は目が不自由です。でも先生は知っています。モリス君は目が不自由でも、神様から素晴らしい能力をもらっています。それは、人一倍優れた`聴力`です。それを生かせば必ずマウスを見つけてくれると先生は信じています。では、モリス君、お願いできますか？」

そして、モリスはその期待に見事に応えて、マウスを捜し出したのです。

彼は、その日のことを日記にこう書き記しました。

「あのとき、僕は生まれ変わった。僕はそれまで目が不自由なことを心の中で重荷に感じていた。でも先生が褒めてくれたし、役割を与えてくれたことで大きな自信がついた」

この日から十数年後、神様からいただいた天才的な聴力を生かして音楽の道に進んだモリスは、「スティービー・ワンダー」という名前で、シンガーソングライターとして鮮烈な全米デビューを果たしました。これは、有名なスティービー・ワンダー（詳細はグーグルで）の小さい頃の話です。

私たち人間には、全てのの人に役割があります。家庭で、クラスで、部活動で。もし役割がない人がいたとしたら、それは一見、自由で楽な生き方に思えるのかもしれませんが、役割のない生き方ほど、つまらない人生はありません。

できること、できないこと、得意なこと、不得意なことには個人差があります。それぞれが、それぞれを補って生きるのが、人間社会のあるべき姿ではないでしょうか。だから、あなたがすることは、「あなたの本当の役割を知ること」です。

今はまだ、与えられた役割でも、見つけ出した役割でも、構いません。その役割を自分の持っている力で果たす。これが大切です。

もし、夢も目標もないという人がいれば、目の前にある役割を懸命に果たす努力をしてください。たくさんの役割を果たすことで、ちゃんと夢や目標に繋がっていきますから。

まずは、清掃当番から。

TKP コラム Vol. 11

「情報感度のいい心のアンテナを高く立てる」

学年主任 末松孝治

保育園に通う娘と車でドライブを楽しんでいると、いつも私と同じ車種の車を見つけては、「あそこに同じ車があった」とか「また、同じ車見つけた」と教えてくれます。さらに、「パパと同じ車、いっぱい走っているね」と一言。確かに同じ車種の車とすれ違うことはありますが、実際には別の車種の方がよっぽど多くすれ違っています。

なぜ娘は、私と同じ車種ばかりを見つけれられるのかと考えると、意識が同じ車に向いているからです。ドライブ中にたくさんの車とすれ違っていますが、娘にはそれが、風景として目に入っている、ちゃんと見ていないのです。

人間って実は結構いい加減ですから、普段たくさんのものが見ているはずなのに、意識が向いていないために、ただの景色になってしまっていることがほとんどです。例えば、毎日、たくさん見ている信号機だって、左から赤、黄、青なのか、青、黄、赤なのか、歩行者信号は赤が上なのか、青が上なのか、あらためて聞かれると迷ってしまうほどです。（たぶん私だけです）

私自身も自宅を新築するときに、屋根の形をどの形にしようか考えていた時期がありました。それまで、毎日、同じ道を通勤していましたが、家の屋根を見ながら歩いたことはありませんでした。しかし、ひょんなことから家の屋根に意識を向けた時、このお宅の屋根はこんな形をしていたのかと、新たな発見が何度もあり、その頃は、人様のお宅の屋根ばかりを見ながら歩いていました。

ですから、普段見えていないものは、見ようとしていないから見えていないだけで、見ようとすれば見えるということなのです。見ようとするとは、つまり、心のアンテナを高くして、情報感度をよくすることです。そうすれば、必要な情報がちゃんと集まってきます。

今、書いているこのコラムは何年も前から書き続けていて、今回が70本目になります。しかし、今までネタに困ったことは一度もありません。それは、日々、アンテナを高く立てているからです。すると、不思議なことに必要な情報が集まってきます。

たぶん、皆さんたちに必要な情報も、身の回りにたくさん転がっているのだと思います。それに気づくためには、情報感度のいい心のアンテナを高く立てる。それだけです。そうすることで、自然と必要な情報に意識がフォーカスされるはずですよ。

では、これから、皆さんが見たいものって何ですか。

夢ですか。未来ですか。それともスマホの画面ですか。

見えていないところや、見ようとしていないところに、実は人生の神髄が隠れているのかもしれないよ。